並木中等story

令和４年７月11日号

何もしなくていいのですか？

中学１年の時に悩んだことがありました。近くの席に座っている女子が給食をこぼしてしまった時です。その女子はあまり話をしない生徒でした。“私が片付けを手伝ったら嫌がるかもしないから何もしない方がよい”それとも“急な事態だから手伝った方がよい”この二つで葛藤しました。私がどうするかで悩んでいるうち、別な男子が片付けを手伝い、あっという間に終わってしまいました。私は椅子に座ったままでした。その２ヶ月位後、今度は私が給食の時間に牛乳をこぼしてしまったのです。（当時は瓶に入った牛乳で１本すべてをこぼしました。）その時、片付けを手伝ってくれたのが、以前、給食をこぼした女の子でした。私は“ありがとう”と御礼を伝えながらも、“恥ずかしい”という気持ちが同居していました。とっさの時にどのような行動をするかは難しい判断です。しかし、これらのことをきっかけに、“動くか動かないか、迷ったら動く”というスタンスをとるようにしました。動いて迷惑そうな顔をされた時もありましたが、動かないで嫌な思いをするなら、動いて失敗（？）した方がいいと思っています。

《祝！世界水泳　銀メダル》

本校の第７回の卒業生である佐藤友花さんが、６月20日にハンガリーのブダペストで開催された世界水泳選手権アーティスティックスイミングの混合デュエット・テクニカルルーティン決勝で日本勢初の銀メダルを獲得しました。

おめでとうございます。